



CREATE VALUE FOR PEOPLE AND SOCIETIES.

保険を、人と社会のために。



CSR REPORT 2018

[ダイジェスト編]

人と社会に貢献する 企業グループを目指して

株式会社T&Dホールディングス
代表取締役社長

上原 弘久



T&D保険グループは、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の生命保険会社3社を中心に、生命保険事業を中核とする企業グループです。2004年4月に生命保険会社3社が保険持株会社であるT&Dホールディングスのもとに集結して以来、変化する社会の課題に向き合い、社会が必要とする保険商品・サービスの提供を通じて人と社会に貢献し、グループの持続的成長を実現してまいりました。

人と社会に貢献する企業グループとして

相互扶助の理念を基礎とする生命保険事業を中核とする当社グループにとって、「人と社会に貢献すること」は最も基本的な理念です。社会的課題に事業を通じて向き合い、持続可能な社会の発展に貢献していくことは、生命保険事業の長い歴史を持つグループ各社のDNAの中に受け継がれてきた基本的な使命と考えています。「Try & Discover (挑戦と発見)による価値の創造を通じて、人と社会に貢献するグループを目指します。」というグループ経営理念のもと、グループの強みを活かして「社会にとっての価値」と「企業にとっての価値」の両方の創造を通じて、人と社会に貢献する企業グループを目指してまいります。

社会とともに成長する企業グループとして

私たちは、2016年4月を始期とする中期経営計画を「今後10年を見据えたファーストステージとして“成長領域を拡大する3年”」と位置づけました。この中期経営計画において、「生命保険事業を通じて社会的課題の解決に貢献することにより“すべてのステークホルダーの満足度”の増大を追求していく」ことを私たちの目指す姿として示し、その実現に取り組んでいます。

一人ひとりが活躍する企業グループとして

「人と社会に貢献する」というグループ経営理念を実現するのは、グループ役職員一人ひとりの力です。経営の意思決定から日常の業務活動まで、「社会と価値を共有する」という理念を浸透させていくことが重要だと考えています。当社グループでは、T&Dホールディングス社長を委員長としグループ各社のCSR担当役員・部長をメンバーとする「グループCSR委員会」を設置しています。同委員会を通じて、「社会と価値を共有する」という理念を浸透させていくとともに、各社の取組み内容を連携して、グループ各社及びグループ役職員一人ひとりの「Try & Discover」を支援しています。

世界とともに進む企業グループとして

国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現に向けて、企業に期待される役割は大きなものがあります。当社グループは、持続可能な成長を実現するための国連と企業の協力の枠組みである「国連グローバル・コンパクト(UNGC)」の理念に賛同し、支持を表明する書簡に署名しています。また、機関投資家である太陽生命、大同生命、T&Dアセットマネジメントは、国連が提唱する、機関投資家が社会的責任を全うする際の原則である「責任投資原則(PRI)」にも署名しています。

私たちは、グループ役職員一丸となって“Try & Discover (挑戦と発見)”のたゆまぬ実践を通じ、社会と価値を共有し、持続的に成長する生命保険グループを目指してまいります。

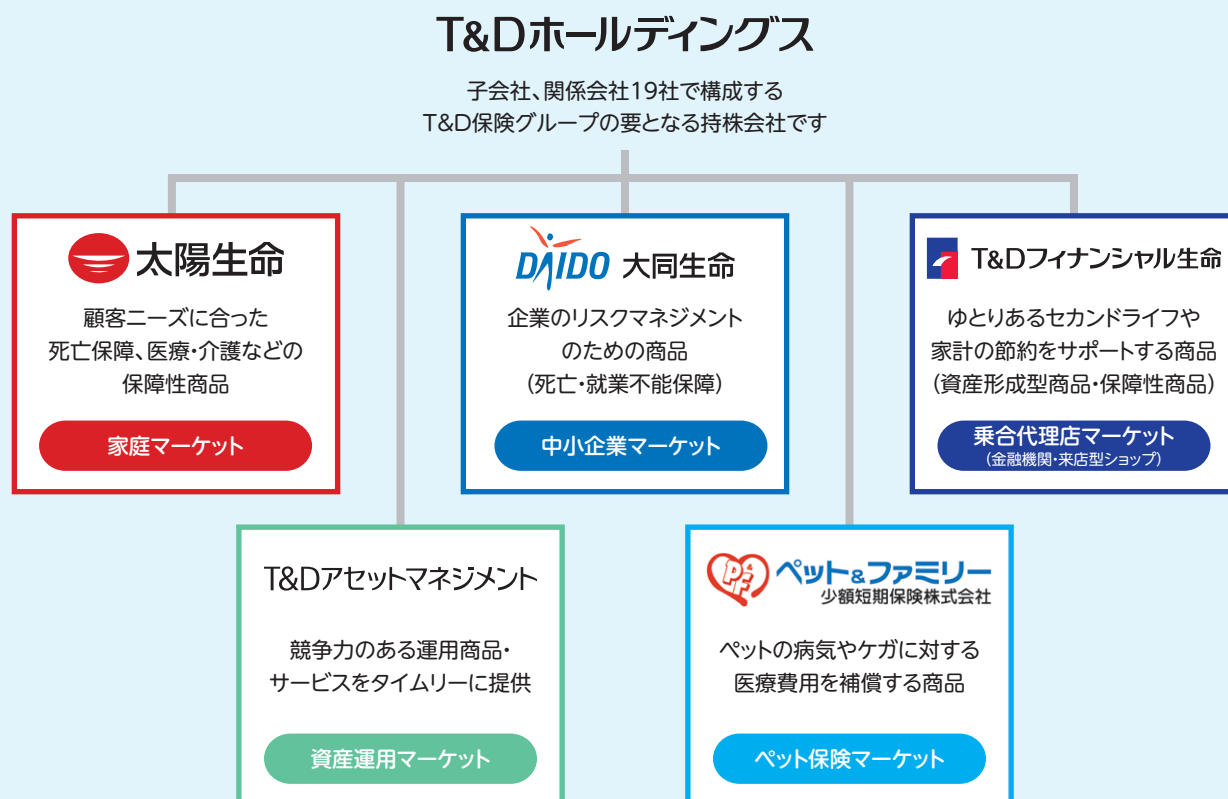
ステークホルダーのみなさまには、今後とも一層のご支援とご理解をたまわりますようお願い申し上げます。

組織のプロフィール

T&D保険グループの事業概要

T&D保険グループは、持株会社であるT&Dホールディングスのもと、3つの生命保険会社(太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命)を中心とする企業グループです。家庭マーケットに強みを持つ太陽生命、中小企業マーケットに強みを持つ大同生命、乗合代理店(金融機関・来店型ショップ)マーケットに強みを持つT&Dフィナンシャル生命が、それぞれのビジネスモデルにおける強み・独自性を最大限発揮し、みなさまの暮らしとビジネスをサポートしています。

● グループストラクチャー



上記以外の主なグループ会社

保険関連事業

- T&Dコンファーム株式会社
- 東陽保険代行株式会社
- 株式会社大同マネジメントサービス

資産運用関連事業

- T&Dリース株式会社
- 太陽信用保証株式会社
- エー・アイ・キャピタル株式会社

総務・事務代行等関連事業

- T&Dカスタマーサービス株式会社
- T&D情報システム株式会社
- 日本システム収納株式会社
- 株式会社全国ビジネスセンター
- Thuriya Ace Technology Company Limited

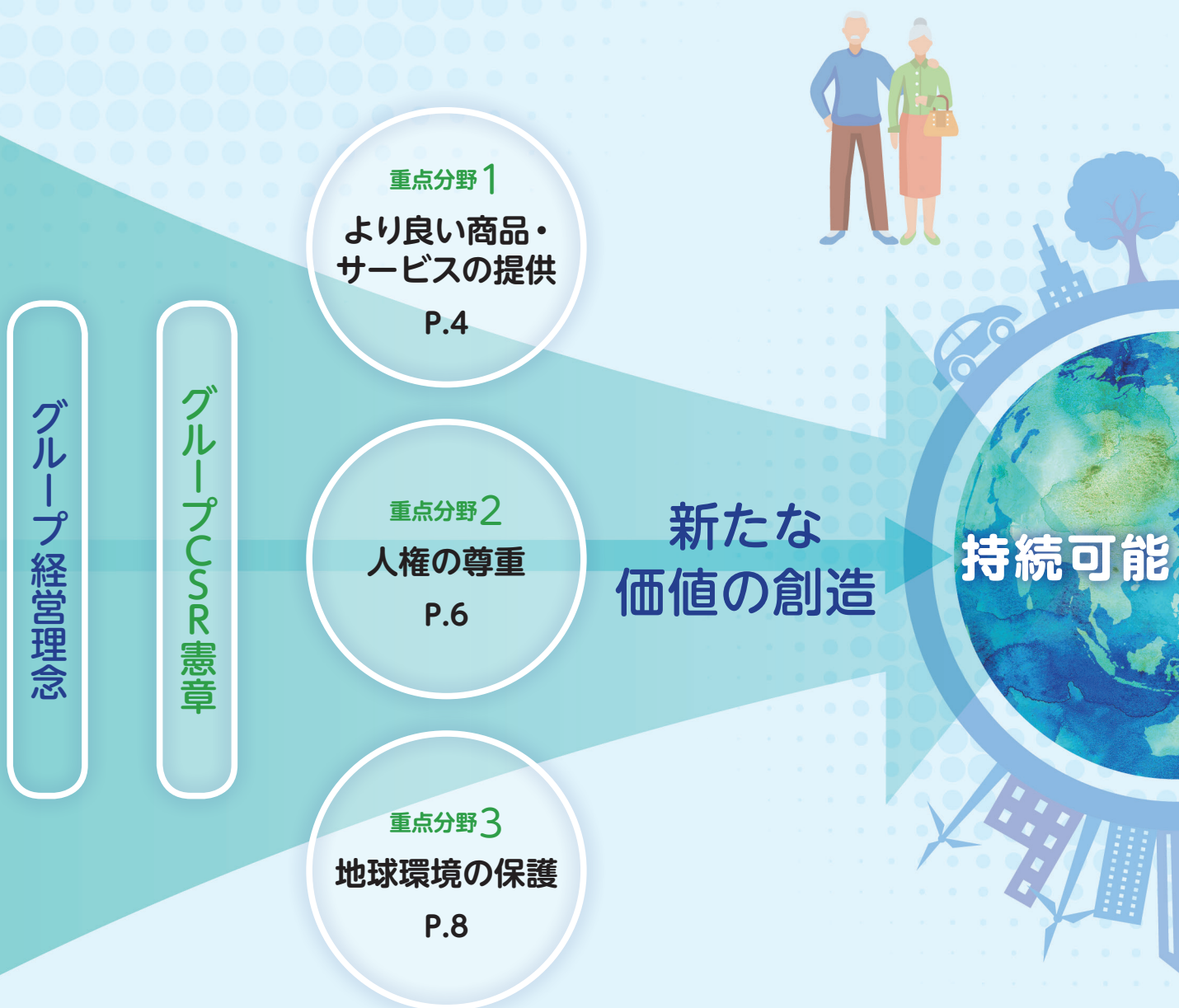
2018年6月末時点



※親会社株主に帰属する当期純利益

収益・利益は2017年度、従業員数は2018年3月末時点

私たちは、社会的課題への取組みを通じ、
価値を創造し、人と社会に貢献します。



幅広いステークホルダーにとって重要な分野、私たちの企業理念と成長にとって重要な分野から、3つの分野を重点分野として選定し活動に取り組んでいます。

T&D保険グループとステークホルダーのみなさま

ステークホルダーのみなさまとの積極的な対話を、T&D保険グループCSR憲章に謳っています。

生命保険会社3社では、お客さま、代理店などのステークホルダーのみなさまとのあらゆる接点でいただいた声を経営に活かしています。



《主なステークホルダーとの対話》

- 株主総会、決算説明会、証券アナリストとの意見交換、株主通信の発行など
- お客さまの声、お客さまアンケート、ふれあい倶楽部、事業報告懇談会、サービス品質向上委員会、サービス監理委員会など
- 従業員意識調査、労働組合との意見交換協議、働き方ミーティング、内部通報制度など
- 国連グローバル・コンパクト、21世紀金融行動原則、日本UNEP協会参加、公益財団法人日本ダウン症協会への支援、公益社団法人日本フィランソロピー協会への協力、太陽生命の森林の活動など

T&D フィナンシャル 生命の取組み

多様化するお客さまニーズに応える商品

T&Dフィナンシャル生命では、銀行等の金融機関や来店型の保険ショップを通じて、多様化するお客さまニーズに応えるため、商品ラインアップを拡充し、タイムリーに保険商品を提供しています。シニアのお客さまに、ゆとりあるセカンドライフのための生活資金の準備や遺族保障等のニーズに応える資産形成型商品を、就労・子育て世代のお客さまに、ご加入いただきやすい価格の保障性商品をお届けしています。



お客さまサービス向上に向けた取組み

T&Dフィナンシャル生命では、シニア層のお客さまや障がいのあるお客さま向けのサービスの更なる向上のため、さまざまな取組みを検討し、推進しています。2017年9月からは、署名代行(代筆)時に指定可能な親族がいない場合等、親族以外(ホームヘルパー・施設委員・民生委員など)による署名代行(代筆)の取扱い実施に加え、自社職員による代筆を可能とする取扱いを開始しました。

T&Dアセット マネジメントの 取組み

持続可能な社会形成に貢献する商品

T&Dアセットマネジメントは、ESG(環境、社会、企業統治)リサーチに基づいた銘柄選択によりESGの観点から優れた企業に選別投資することで、中長期的に市場平均を上回る投資リターンを獲得を目指すとともに、環境負荷の低減や健全な社会の実現に資する企業への投資を通じて持続可能な社会形成に貢献する日本株式ESGリサーチ戦略を運用しています。

2017年度は、健康社会実現への課題解決に積極的に取り組む企業への投資を通じて社会課題の解決に貢献するとともに、長期的に高い運用収益の獲得を目指す健康関連社会貢献株式戦略の運用を開始しました。



ペット& ファミリー 少額短期保険の 取組み

大切な家族のために

ペット&ファミリー少額短期保険は、ペット医療及びその費用への関心がますます高まるなか、飼い主さまとペットが安心して治療を受けることができるよう、ペットが病気やケガにより動物病院で治療を受けた費用の一定割合を補償する商品「げんきナンバーわん」「げんきナンバーわんスリム」をご提供しています。また、2017年7月よりホームページにペットライフを充実させるための情報や、ペットライフの身近な疑問を分かりやすく紹介した特別コンテンツ「Pet News Storage」を掲載しています。



人権の尊重



基本的な考え方

T&D保険グループは、人権の保護を支持し尊重すること、従業員の人格と多様性を尊重し働きやすい職場づくりを進めることは、企業の成長と社会の活性化につながる、企業が果たすべき重要な社会的責任と考えています。

成長の機会を提供する取組み

T&D保険グループでは、グループ発足以来、「多様な人材が働きがいを感じながら能力発揮できる企業風土づくり」を推進しています。傘下会社それぞれが独自の教育研修計画を策定し、従業員の能力の開発・向上に取り組んでいます。

太陽生命 大同生命 T&Dフィナンシャル生命

生命保険会社3社では、従業員が積極的に自己の能力開発に取り組むことができる機会を提供することで、従業員のキャリア形成を支援しています。

● 社内公募

自ら希望する職務やMBAの取得、グループ外企業への派遣などにチャレンジする社内公募を実施しています。

● グループ人材交流

各社の持つ優れたノウハウやスキルの共有化を目的にグループ会社間で人材交流を実施しています。

● 各社若手・中堅職員をメンバーとしたワーキンググループ(以下WG)

2011年度にグループ横断の女性活躍施策を企画・提言する「女性活躍WG」の取組みをスタートし、2016年度からは男女混合メンバーによる「働き方改革WG」として活動しています。2017年度は「育児とキャリアの両立」をテーマに調査・研究を行い、さまざまな育児支援活動の施策を提言。提言施策の一つである「短時間勤務制度の拡充(対象となる子の年齢上限を小学校1年生から小学校卒業まで引き上げ)」は、2018年度から実際に制度として取り入れ、すでに複数の従業員が活用しています。

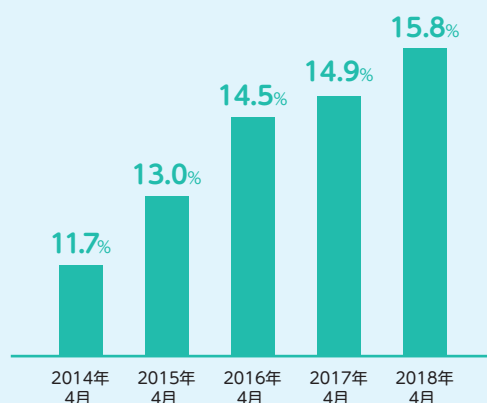
女性の活躍を支援する取組み

女性が従業員の多数を占める当社グループにあって、女性の更なる能力発揮は持続的な企業価値向上の源泉であり、女性活躍はグループの重要な経営課題と認識しています。

女性活躍推進の行動計画と女性管理職登用の目標を開示。女性管理職比率は着実に上がっています。

行動計画 【取組施策】
→ 計画的な管理職の育成・登用の実施
→ キャリア形成・両立支援策の充実
→ 管理職の意識改革促進

女性管理職比率の推移(3社合計)



女性管理職登用に関する目標 女性管理職比率(達成期限)



意欲・能力ある
女性を計画的に
育成・登用

20%以上
(2021年3月)



多様な働き方を
推進し新たな
チャレンジを支援

15%以上
(2020年4月)



女性が安心して働き
能力発揮できる
企業に

15%以上
(2019年4月)

2013年7%の2倍に

働き方改革、ワーク・ライフ・バランスの取組み

T&D保険グループでは、従業員が家事や育児、介護などの家庭責任を果たしながら仕事で十分に能力を発揮し、パフォーマンスを高めるために、育児休業などの制度の充実や総労働時間の縮減など、さまざまな取組みを強化しています。

太陽生命

総労働時間の縮減や有給休暇の取得促進に取り組んでいます。また、子の看護休暇や介護休暇を半日単位で取得できる制度の整備、短時間勤務利用者へのフレックスタイム制度の適用など、柔軟な勤務が可能な体制としています。さらに、高齢化の進行とともに介護に直面する従業員の増加が見込まれることから、最大3年まで取得できる介護休業など、法令を上回る介護支援制度を整備しています。

大同生命

「チャレンジ19」(19時を退社時刻の目標としPC自動シャットダウン等を実施)をはじめとする労働時間の縮減に向けた取組みのほか、「仕事スリム化運動」など、仕事と家庭が両立できる働き方を推進しています。2017年には「在宅勤務制度」などのテレワークへの取組みが評価され、総務省「テレワーク先駆者100選」において、総務大臣賞を受賞しました。

T&Dフィナンシャル生命

従業員が働きがいを感じる企業風土の醸成を目的として、ワーク・ライフ・バランスを実現できる職場を目指し、短時間勤務制度の導入やフレックスタイム制度の利用促進、ノー残業デー・早帰りデーの設定、PC自動シャットダウンなどの所定外労働時間の削減施策を継続実施しています。

従業員の健康のために

T&D保険グループでは、健康経営の理念のもと、すべての従業員が心身ともに健康で生き生きと働ける職場の実現を目指しています。

太陽生命と大同生命は、経済産業省が従業員の健康増進に取り組む「健康経営」を普及させることを目的とし定めた健康経営優良法人認定制度に基づき、「健康経営優良法人～ホワイト500～」に2年連続で認定されました。



太陽生命

「従業員」「お客さま」「社会」のすべてを元気にする取組み、「太陽の元気プロジェクト」を推進しており、生活習慣病の予防等を目的に、山形県上山市と「上山型温泉クアオルト(健康保養地)事業」を活用したクアオルト健康ウォーキング、スマート・ライフ・ステイ(宿泊型特定保健指導)の実施や、社内禁煙運動の取組み等、従業員の健康づくりの推進に向けた各種支援を実施しています。また、2017年より、がん検診の会社補助を増額し、将来の認知症リスクを診断する「MCIスクリーニング検査」を健康診断と合わせて実施するなど健康経営に取り組んでいます。

大同生命

役職員向けに「KENCO SUPPORT PROGRAM」を導入し、心拍数・歩数など普段の活動状況を測定できるウェアラブル端末の提供、社内完全禁煙や健康をテーマとした講演会等を通じて、従業員の健康増進並びにヘルスリテラシーの向上に取り組んでいます。また、従来からの労働時間縮減、疾病予防対策及びメンタルヘルス対策にかかる取組みについても強化し、これらの取組みを「DAIDO-ココ・カラ(心と身体の略)」と総称し社内展開を図ることにより、健康経営実践企業としての風土を醸成しています。

T&Dフィナンシャル生命

社内禁煙の実施や社内におけるクラブ活動等でスポーツを行うためにかかる費用を補助し健康増進を図っています。また、疾病予防として、30歳以上の役職員に対し人間ドックの費用を補助するなど、さまざまな取組みを実施し、健康増進に取り組んでいます。



地球環境の保護

基本的な考え方

T&D保険グループは環境への取組み姿勢を明確に示すため、「T&D保険グループ環境方針※」を制定しています。企業活動に際して、環境問題の重要性を十分認識し、地球環境の保護に配慮して行動することを基本方針として表明し、役職員への周知徹底を図るとともに、環境負荷低減のためのさまざまな活動を推進しています。

※「T&D保険グループ環境方針」は<http://www.td-holdings.co.jp/csr/csr-policy/environment.html>に掲載しています。

環境負荷低減の取組み

● CO₂排出量の削減

T&D保険グループのCO₂排出量は、その90%以上が電力使用に由来しており、電力使用量の目標を設定し、エネルギー使用量の削減に努めています。

● 節電への取組み

5月から9月までの間、オフィス内の冷房温度を原則28度に設定する「クールビズ」を、11月から3月までの間は室温を原則20度に設定する「ウォームビズ」を実施しています。

● ライトダウンキャンペーン

グループ役職員一人ひとりの環境に対する意識を向上する取組みとして、年に2回、執務室などの一斉消灯を呼びかけるキャンペーンを実施しています。2017年度は7月と12月に実施しました。この取組みは、地球温暖化防止のため、ライトアップ施設や家庭の照明を消していただくよう環境省が呼びかける「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」に賛同したものです。

● 業務のペーパーレス化の推進

本社では、取締役会、経営会議等のペーパーレス化を実現するため、会議室にOA機器を設置しています。また、ミーティング等もペーパーレスで行えるようにするため、モバイルPCの配布、無線LANの配備、ミーティングテーブルへのディスプレイの設置など、ペーパーレス化の推進に取り組んでいます。

● グリーン調達取組み

(環境保護目的の調達に関する費用・件数集計)

主に事務用品など消耗品を対象とするグリーン購入の取組みに加え、商品パンフレット、ご契約のしおり・約款の印刷や、不動産の照明・空調等の設備の調達、システム機器・OA機器の調達を対象に、環境負荷低減に配慮したグリーン調達の基準を定め、基準を満たすものから優先的に調達する取組みを実施しています。

● グループ共通目標への取組み

グループ各社が協力し、「電力使用量の削減」「事務用紙使用量の削減」「グリーン購入比率の向上」について、グループとして目標を設定し、事業活動の中で達成に向けた取組みを進めています。

《電力使用量》

デマンド監視システムによる各ビルのピーク電力の設定や「早帰り日」を実施。また、離席時のPCの省エネモード設定、退社時のプリンター、複合機の電源オフなどさまざまな取組みを実施し電力使用量の削減に努めています。

《事務用紙使用量》

ペーパーレス会議の推進、両面印刷や2in1印刷、大量印刷の前に試し印刷を行い、確認後に印刷することを徹底するなど、事務用紙使用量の削減に努めています。

《グリーン購入比率》

文房具などを購入する際に、「グリーン購入法適合商品」や「エコマーク認定商品」などを優先的に選ぶ「グリーン購入」を推進しています。グリーン購入基準を定め、基準を満たす物品の優先購入に努めるほか、事務用品のオンライン発注では、環境対応商品以外のものを購入する場合には申請を必要とするシステム設定にするなどの取組みを進めています。

● 資産運用を通じた取組み

再生可能エネルギー発電事業や、スマートエネルギー都市づくりなど、環境負荷低減に役立つ事業等を資金面で支援する投融資の取組みを進めています。

森林保全活動

太陽生命

生命保険のパンフレット・約款等、業務上さまざまな紙を使用する生命保険会社として、森林資源の還元と緑化保全を目的に、太陽生命では、栃木県那須塩原市と滋賀県高島市に「太陽生命の森林」を設置し、森林保全活動を進めています。

設置森林名	太陽生命の森林 ^{もり} (栃木県)	太陽生命くつきの森林 ^{もり} (滋賀県)
設置年月	2006年3月	2007年11月
面積	約4.8ha	約12.7ha
CO ₂ 吸収量	19t (林野庁評価)	81t (高島市評価)

<太陽生命の森林>

「太陽生命の森林」では、塩那森林管理署ほかの協力を得て、2017年7月、11月に間伐や散策道整備などの森林整備活動を実施したほか、5月には公益財団法人日本ダウン症協会のご家族をお招きして「森林教室」を実施しました(年間延べ参加者数168名)。



<太陽生命くつきの森林>

「太陽生命くつきの森林」では、現地NPO法人麻生里山センターの協力を得て、2017年9月、12月に林道整備やアカマツ林の落ち葉掻きなどの森林整備活動を実施したほか、2017年12月には地元小学生がどんぐりから広葉樹の苗木を育て、卒業時に植樹を行う「どんぐりプロジェクト」を実施しました(年間延べ参加者数230名)。



環境教育・啓発

T&Dホールディングスでは、UNEP(国連環境計画)機関誌の日本語版「Our Planet—私たちの地球」を制作している一般社団法人日本UNEP協会の活動に協賛しています。同誌はT&D保険グループ各社のほか、地方の小学校・中学校・高校、公共図書館などに広く配布され、環境意識啓発に役立てられています。



社会活動

太陽生命

全国中学生ラグビーフットボール大会への特別協賛

太陽生命は、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会(以下、日本協会)が主催する全国中学生ラグビーフットボール大会(太陽生命カップ)に、2011年度より特別協賛しています。ラグビーの基本精神である「One for All, All for One」は、生命保険の基本理念である「一人は万人のために、万人は一人のために」と共通するものです。また、日本協会が掲げる大会目的である「中学生プレーヤーをはじめ、関係する中学生が健全な社会を形成する者として必要な資質を得られるよう働きかけること」に賛同し、日本協会とともに中学生ラグビーフットボール競技の日本国内における振興と発展、及び青少年の健全な育成に取り組んでいます。



大同生命

障がい者スポーツへの協賛支援

大同生命は、創業90周年の1992年に開催された第1回「全国知的障害者スポーツ大会(ゆうあいピック)*」より、毎年、「全国障害者スポーツ大会」に特別協賛しています。この大会は、「障がいのある選手が、競技などを通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与すること」を目的として開催される国内最大の障がい者スポーツの祭典です。大会では、参加選手などとの交流の場である「ふれあい広場」に「大同生命ブース」を毎年設置し、大同生命をはじめ、太陽生命や関連団体などの役職員がボランティアとして活動しています。また、2015年1月から公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、2018年1月から一般社団法人日本身体障害者アーチェリー連盟のそれぞれオフィシャルパートナーとして、障がい者スポーツのより一層の普及・発展に向けた取り組みを行っています。



*「全国知的障害者スポーツ大会」は、2001年に「全国身体障害者スポーツ大会」と統合され、「全国障害者スポーツ大会」として開催されるようになりました。

T&Dフィナンシャル生命

「日本ろう者サッカー協会」とオフィシャルパートナー協定を締結

T&Dフィナンシャル生命は、2018年6月1日付で、一般社団法人日本ろう者サッカー協会とオフィシャルパートナー協定を締結いたしました。今後は、同協会のオフィシャルパートナーとして、ろう者サッカー・フットサル日本代表の発展や障がい者スポーツの振興を通じた活動など、同協会が行う活動のサポートを通じて、ろう者サッカー・フットサルの発展と普及に貢献していきます。



社外のご評価

SRI・ESG評価機関からの評価

T&D保険グループは、CSR・ESG課題の取り組みについて、わかりやすく透明性のある情報開示に努めています。国内外のSRI/ESGインデックス評価機関から高い評価を受けており、主要なSRI/ESGインデックスの構成銘柄に採用されています。

※SRI(社会的責任投資)・ESG投資とは、企業の環境問題や社会問題への取り組み、ガバナンス構築の取り組みなど、財務データ以外の観点も含めて評価し、投資先企業を選定する投資手法です。

国際株式インデックス	国内株式インデックス
 FTSE4Good MSCI 2018 Constituent MSCI ESG Leaders Indexes	 FTSE Blossom Japan MSCI 2018 Constituent MSCI ジャパンESG セレクト・リーダーズ指数 MSCI 2018 Constituent MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN) MS-SRI モーニングスター社会的責任投資株価指数 Morningstar Socially Responsible Investment Index

MSCI ESG Research logo disclaimer: THE INCLUSION OF T&D Holdings, IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF T&D Holdings, Inc. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

株式会社 T&Dホールディングス

〒103-6031 東京都中央区日本橋2-7-1 TEL: 03-3272-6110(代)
<http://www.td-holdings.co.jp/> mail: csr@td-holdings.co.jp

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。